

府に寄せられたまちづくりに関する意見 (H22.7末時点)

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 府民の意見 | 17人 |
| (メール12、電話3、はがき1、来室1) | |
| ② 地元のまちづくり団体の意見 | 4団体 |
| ③ 民間事業者の意見 | 26社 |



① 府民の意見

区分		内 容
1	メール	<ul style="list-style-type: none"> ・何度かお城周辺に行きましたが、まとまりがない印象があります。 ・名古屋にも住んだことがあります。名古屋はお城中心に主要交通があります。大阪は大きいのでそういう訳には行きませんが、以前森ノ宮に球場があったときのようにぎわいがないと聞いています。 ・もっと梅田の再開発などとバランスをもって役割分担をして大阪に住む人だけでなく、他府県の方々も行きたいような観光文化の拠点になったらいいと思います。
2	メール	<p>大手前・森之宮まちづくり推進プロジェクトには、ぜひとも成功してほしいです。 大阪城周辺の観光活性化をかなえる為に、一意見書き添えさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城周辺を、参加型観光スポットとして、大阪の歴史伝統産業に触れて頂けるような、実演、体験の出来る施設を旧歴史博物館跡につくり、秀吉、淀君の衣装、戦国武将体験大阪城を背景に写真撮影、千利休茶の湯体験、伝統産業昆布、線香、タオル、刃物等の販売等大阪ものを、予約や日替わり等で対応しながら観光客、大阪の人にも楽しんで貰える施設に... ・お城周辺では、観光人力車、お籠の営業や、なにわ商人(町人)スタイル、西洋人衣装でのスタッフ。 ・子供むけには、大阪歴史と町のスタンプラリー等、遠足や夏休みなどのイベントとして、お城、歴史博物館、NHK、警察庁舎、府庁等をまわる企画などで、府庁ゴールしたら、ジュースや記念品が貰えるなど... ・大阪城祭りなどを企画して、戦国武将隊や火縄銃発砲イベント、大阪伝統和菓子や銘菓のお茶処、大阪にまつわるキャラクターや、歴史人物の顔はめパネル等、天守閣周辺でイベントと同時に、大阪城ホールにてライブ等のイベントも開催する等どうでしょうか... ・秀吉、淀君天守閣ウェディングなども... ・下水道科学館に下水道探検号があり、子供たちは喜んでいたので、探検号の様なアトラクションで歴史タイムスリップ体験等があったら子供も喜ぶとおもいます。 <p>大阪府の、観光発展に期待しています。</p>
3	メール	<ul style="list-style-type: none"> ・現在大阪城には沢山の外国人が訪れる場所になっています。しかし、どれだけの方が満足して帰っているのでしょうか？それはお城(鉄骨ですし入場料も高い)本来の魅力ではなく、路上パフォーマンスなどのそれ以外の場所である事が多いと思います。 ・せっかくこれ程の観光ルートになっている場所をその後訪れる京都や東京より帰国後も思い出の残る街として、また口コミ客を増やせるような街づくりをお願いします。具体的には大阪の1番の魅力である人や食を中心とする文化の紹介など、歴史と関連付けて提示したらどうでしょうか。 ・また、植樹なども適当すぎて本来の木々の魅力とはかけ離れています。市民が求めているのは、もっとくつろげる、癒される、森のような存在ではないでしょうか？堀の水も汚すぎて、赤潮が大量発生していて、外国人には陸地に見えて、何だか意味不明でしょう。 ・みんなが気楽に訪れて楽しくまた訪れる場所、いきいきと出来る場所を求めます。 ・自転車置き場の整理などは最低限言われなくても進めるべき事柄でしょう。



区分		内 容
4	メール	・本町通りを封鎖して難波宮と大阪城公園を一体化した巨大緑地公園にしてほしい。
5	メール	<p>大阪城周辺エリアとしての位置づけは良い。アジアの新たな拠点構想も良い。 以上の基本的な考え方には大いに賛同します。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城エリアの位置づけ(関西/大阪に於ける)を明確に。 ・まず大阪全体のランドデザインを創造し、その中で、大阪城周辺エリアの構想を描く。 域内の歴史・文化は重要な要素を占めるが、それを生かす為、No1、Only1の施設とする。 ・上記観点より周知を集めアジアの受け皿となるべき拠点構想を造るべき。 ・先に成人病センターのみを決めると、今後の有望な構想に大きな制約となる。 結果、全体構想と整合性が取れなくなる。 ・自由な構想募集には、成人病センター案が一つの障害となっている。 <p><要望></p> <p>基本趣旨に沿って自由闊達に議論・検討する為には、成人病センターの話を取り下げ、一から全体構想を練り上げる必要があると思います。</p> <p>都市計画は50年100年先の大阪(大手前・森ノ宮)を見据えて計画し、実行していくべきものと考えております。</p> <p><提案></p> <p>大手前地区は当初計画通り庁舎建替えが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上町台地の強固な地盤にあり、地理的な中心であり、危機管理的に最適な立地条件。 ・大阪府警、NHK等が近隣に整備されている。 (危機管理的に最適) ・大阪城公園に隣接し環境が良い。 ・利便性が良い(大阪府民、府庁職員、関係者全て) <p>以上、基本構造をベースにより良い大阪/関西の実現を目指して、多少の時間がかかっても、後世に誇れる大阪城周辺エリアにしていきたいと願っております。</p> <p>府庁関係者の並々ならぬご尽力に感謝しますと同時に、引き続き宜しくお願い申し上げます。</p>
6	メール	<p>基本趣旨であるアジアの大きな受け皿は大いに賛成できます。 政府も大阪府も観光立国を目指し、特に中国に対してビザの緩和を進めています。 この大阪城周辺は大阪で貴重な観光資源です。 大阪城の正面玄関である追手門の正面に府立成人病センターは似合わない。 観光と病院は相入れない。 せっかくの観光資源を潰してはならない。 そこで下記の提案をします。</p>



区分		内 容
続き		東京では皇居周辺は三菱1号館、丸の内ビル、安田生命ビル、GHQに接收された第一生命ビルなど、皇居の周辺はオフィス街になっています。 大阪城周辺も、高度集客総合商業施設にすればいいと思います。
7	メール	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪城周辺地域をアジアの新しい拠点というプロジェクトの発想は、すごく素晴らしい。 ・経済が低迷している大阪にあって、観光産業を育成し、その目玉として大阪城及び難波の宮をより観光資源として磨きかけるという考え方には、大いに賛成する。 ・大阪の新しい産業及び強みを生み出すプロジェクトとして大いに期待できる。 ・そうであれば、とってつけたような成人病センターの移転は取りやめるべきと考える。 ・森之宮地区のまちづくりに関して、未だに具体的な方向性が見えてこない現状を考えると、建設コスト削減のみに着目した政策決定を見直す余地があるのではないかと考える。 ・それよりも森之宮地区に成人病センターを中心として集積している医療施設を中心とした医療都市として、森之宮を位置付け、環大阪城の一翼を担わせる方が、トータルコストにおいてもはるかに少なくすむし、大阪市内における森之宮の位置づけも鮮明になると思う。 ・府庁の歳出削減だけを考えるのではなく、大阪全体が最も活気が出ることに真っ先に取り組むべきで、成人病センター移転ありきで、行うまちづくりには大いなる懸念がある。 ・前提すら、見直すぐらいの決意でまちづくりはおこなうものではないだろうか。 ・それぐらいの勇氣ある決断を橋下知事には、望む。 ・一方で、今回のまちづくりは、地方主権を大いに示していく上でとても重要であると思う。 ・実際に、運営する組織や住民と一体となってまちづくりをどう行っていくのかという観点で、何をやるのかという視点と合わせて重要になってくる。 ・住民と一体となった新しいまちづくりの在り方を大阪府が全国に先駆けて示すことができるプロジェクトであり、そのことによって、国にはできない真の地域主権が実現するのではないかと考える。
8	メール	今回の両地まちづくりは、府民を無視した一方的な提案で、納得出来ません。医療と観光の共存は不可能だと思います。とても違和感を感じます。目的を一つにすべきだと思います。税金の無駄使いは止めて頂きたいです。
9	メール	<p>提案は、府庁のWTC移転に端を発し、府庁用地活用の行詰りと成人病センター更新の必要に導かれた結果であって、地域の発展や環境への思いからではないと考えます。大手前では府政に関連した経済活動が行われ、移転に伴う経済的影響は事務所需要だけでなく多様な業種業態に亘ります。激変があれば対応出来ないのは摂理であり、現状をふまえて対応可能に緩やかに行われるべきです。</p> <p>幸いにして、既に市・府・経済界は目指す方向を示し活動を始め、当地区には未利用の府有地や再編検討中の国の施設があり、南北交通軸から外れてはいますが大阪市が整備する東西文化軸の東端にあり「海の御堂筋」の一翼を担っています。周辺の歴史資産が持つ環境や文化・歴史の重み、この環境下の優れた教育施設の集積はこの文化軸の重要な特性であり、大阪城ホール・いずみホール等の文化施設やNHK・おおさかテレビ・日経新聞社のメディアと連携して文化・教育の情報発信機能を磨き、「アジアの需要の受皿」として発展する力を持っています。</p>



区分	内 容
続き	<p>国が提唱するメディカルツーリズム(MT)は「国民への医療サービス提供を基本的なミッションとしている日本の医療機関にとって、個々の医療機関による海外プロモーション方法は馴染まない」と日本全体の産業に育成する考えです。奈良・京都の歴史観光資源や大阪城を含む大阪・神戸の都市観光資源と高度医療の連携を求めれば、これ等の観光資源と医療機関を結ぶことが肝要で、PTの言う「交通都市軸から外れている」当該地区がその適切な立地とは考えられません。ましてや、府民の医療を標榜する成人病センターをMTの中核とするのは、その理念の根本的な改革が求められ、拙速で無謀と考えます。現地建替えを含む多様な検討を充分に行い、地域経済へも配慮し理解を得て進めるべきです。文化・歴史や環境を背景に集客力と創造力を育み、情報発信力によるアジアから注目される街づくりを提案します。文化軸でのベイエリアや中の島のアートと連携し、地域特性を生かすイベント施設を成人病センターに代えて先行整備します。具体的には、府・国有資産の等価交換やPFI事業により、「国立」のアニメ・マンガ資料館や大阪には無いオペラ劇場等を想定します。新旧の機能に関連したコンテンツ産業や教育産業が期待でき、それらの新産業は府庁による様々な経済需要に代わる新たな経済環境を生み出します。</p>
10	<p>メール</p> <p>東京は、各地域が特色を出しながら街づくりが行われているように見えます。そして、その集合体としての東京が「Tokyo」ブランドを醸成している一因でもあります。それゆえに、タウンウォッチングに何回行っても飽きる事がない。大江戸線やスカイツリーなどネーミングや山手・下町などの地域の特色もモダンとレトロが入り混じり、トータルでの魅力を高め、ブランディングが非常にうまいと感じる。</p> <p>大阪の場合は、その対極にあると感じます。</p> <p>大手前地区は大阪城の大手門の前面に位置し、官公庁街としてブランドイメージを作っています。森之宮といえば、成人病センターがまず頭に浮かびます。この度、単に成人病センターの建替えに便利というだけで移転するのは、それぞれが永年培ってきた機能・イメージを、破壊し、しいては街をつぶす事に結果的になると考えます。</p> <p>観光都市を目指すのなら、まず大阪城及び周辺地域のそれぞれの街の特色(ブランディング)を確立すべきであり、森之宮は医療センター、大手前は大阪城正門の大手門、大手通のある街として、品格のある文化観光的な街づくりを目指すべきだと思います。</p> <p>そこに、病院を持ってくると大手前地区のブランド作りがぼけてしまう以上に危険すら感じます。</p> <p>大手前が一等地なだけに、大阪が雑多な街といわれるイメージをさらにふくらませるだけになると感じます。</p> <p>やはり、これから増大するであろう外国人大阪城観光客にすっきりとしたイメージを持ってもらい大阪観光のリピーターになってもらうには、府庁がなくなるとすれば、なおさら大阪城正門の大手前地区を文化的な賑わいのある町にする事を真剣に考えるべきだと思います。</p> <p>成人病センターの建替えに便利という安直な考えにて街づくりをする事は、大阪の地盤沈下の一因の愚を再び行う事になります。</p> <p>結論としましては、大阪でも各所で町おこし、街づくりが行われている昨今、府が関係する大手前地区の街づくりは、あらゆる意味でそれらの模範とならねばなりませんし、失敗はゆるされないと感じます。</p> <p>大阪が雑多を誇りにして、自滅の道をえらぶのか。それぞれの地域が整然と特色をもって街づくりをし、大阪を支え、Osakaブランドを醸成していくのか。このプロジェクトはその試金石になる事は間違いありません。</p>
11	<p>メール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城の緑地を中心とした「大阪セントラルパーク構想」なんて名は？ニューヨークを参考に ・LRTは上町線復活で阪堺線と接続して導線を作ることで活性化 ・大阪城内で路線を走らせることも(場内自動車もいつも走っていると地域の私たちも使えます)



区分	内 容
続き	<ul style="list-style-type: none"> ・ほったらかしの土地(球場、市営法円坂住宅)町の雰囲気が悪くなります。地域に大型商業施設がないため是非。 ・大阪城をテーマパーク大賛成。ジブリのテーマパークが欲しいです。忍者村、侍村でも ・大阪砲兵工廠あとはスポーツ会社系が何社か入ったスポーツクラブで、大阪城のジョギングなどを後押ししてくれる施設を ・南側はバーベキューができる施設を ・毛間こう門はカーンなどが通行できるようにして大阪城、大川近辺迄入れるように ・建物の屋上は全て緑化してほしい。折角の緑地もビルで覆われてはヒートアイランド化 ・JRリニヤはやはり象徴的な大阪城をステーションに ・関空リニアは大阪城、WTC、関空 など
12	<p>メール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、難波宮の観光活用 地下鉄の駅名変更(谷町四丁目を難波宮前に)する。跡地に難波宮を再建して奈良同様の観光資源にする。 2、大阪城の再生 大阪城を姫路城のように、建設時の姿に戻して世界遺産として再生する。またはチタン屋根やLED照明などを使い、最先端技術の情報発信地にする。今の大阪城には観光スポットとしての魅力が足りない。 3、成人病センターの観光活用 国内外、特にアジアから富裕層の観光資源(各種の健康診断)に活用する。 4、府下の教育機関との連携 小中学校で年に複数回、周辺施設を社会見学などで利用する。子供が多い場所、地域は自然と活性化する。
13	<p>電話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城のこれだけの価値ある土地をなぜもっと活用しないのか。ロケーションも良いのに。 ・例えば、小田原城は、小さいが土日には人が沢山訪れる。小田原城は、水も緑もある空間で近所の人癒されるためにやって来たり、イベント・フリーマーケット・お祭りなどをやったり、プランター等を並べてガーデニングの講習(ボランティア)をしたり、人が集まるようなことを色々やっている。子どもたちの人間形成にも役に立つ。 ・大阪城はアジアの人を集めるより、まず近辺・大阪の人を集めることを考えるべき。特に地域の人魅力を感じ、何度でもいつでも行きたくなるような場所にすべき。足元を見つめて、「アジア」を消して考えてみては。
14	<p>電話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府政だよりを見た。 ・大好きな大阪城が活かされていない。せつかくの歴史、自然、森を楽しめるクオリティがない。 ・外国は城壁内には店はなく、外にしゃれた土産物屋やレストランがある。大阪城は逆。外にはレストランがない。 ・財政が厳しいなら城の内堀から入場料とることを提案したい。常連には格安パスポート発行。 ・ガイドブックや情報誌に地図、季節の花などの案内を載せる。 ・クオリティの高い公園にしてほしい。 ・セキュリティも向上する。



区分		内 容
続き		<ul style="list-style-type: none"> ・道標も整備してほしい。 ・城と周辺との一体感、開放感を出し、気持ちよい楽しめる空間にしてほしい。 ・結婚式を挙げた家族が城の周りで記念写真を撮ったりできるようキレイにしてほしい。 ・車が走っているらしいが運行時間など情報や案内をちゃんと発信してほしい。 ・大阪が誇る一大観光スポットなので「行って良かった。また行こう」と思えるようにしてほしい。
15	電話	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪城公園に行った際、他のタクシーやバスは大阪城の近くまで入って行ったのに、自分の乗っていた観光バスは途中で止められ、800メートルも歩かされたと言人が行っていた。そのバスには足の不自由な人も乗っていたようだ。知人は、もう二度と大阪城には行きたくないと言っていた。
16	はがき	<p>「大阪府にセントラルパークを！」で府民から募金してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光に来た外人の方は、大阪には来ない人があると聞きます。何があるのか。食べ物があるという人もいますが、それだけで、人は来るとは思えません。 ・また、一番住んでいて残念なのは、最近、コンサートホールがなく、大物アーティストは大阪以外でコンサートをします。とても悲しいです。森之宮に、大きなコンサートホールと、ニューヨークのセントラルパークのような公園を作してほしいです。 ・東京には、たくさん中心にマラソンをする所がたくさんあります。中心なのに緑がたくさんあるってすばらしい事です。緑をふやして下さい。
17	聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> ・川と鉄道と散策との合流点の入口としての顔(大阪城周辺北側) イタリア・ヴェニスのような明るく開放的な広場を、ゴンドラに代わる船や筏に乗って、ここから分岐点として、桜、梅見に、ビジネス街の観劇や音楽会に。交通の要所として改善してほしい。 ・参道としての顔とモダンな雰囲気と常時訪れる場所として(大阪城周辺西側) 大阪城には特に参道がありません。天満から谷四までの間の道は、車道+歩道で今まで通りですが、他はグリーンスペースとして考え、府庁の2階以上はショッピングセンターだったり、ホテル、レストラン等に。 また、新しい建物を建てる予定地区は出来るだけオシャレな懐かしい建物の移築をしてほしい。 沢山の中庭ができ、天気の良い日はそこでお茶を、雨の日はパリのパサージュのようなテラスで、大阪城を借景に、広々とした空間になってほしい。 ・教育関係 カルチャーセンターの出店(大阪城周辺南側) ここに色々な学校を開校してもらい、公開講座もあり誰でもが参加できるシステムを。海外から来た学生などに安価な宿坊のような逗留型の施設を(武家屋敷を移築)提供してほしい。 ・敷地の改修が出来る範囲で、青空市場を(大阪城周辺東側) アジア街、中華街、日曜市、骨董市、掘り出し物、リニューアル製品や、物々交換など参加型に。季節や曜日ごとに他府県から遊びに来てほしい。移動式小屋を、緑のクールスポットで野外彫刻展、お祭りや催しが開催できる屋内スペースとして使っては。



② 地元のまちづくり団体の意見

	文書による質問の骨子 (H22.6.22)	府の回答の骨子 (H22.7.12)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・PTで検討中のまちづくり案は、地域経済へどれくらいの経済的影響を与えると試算しているのか。 ・WTCへの府庁機能の一部移転とまちづくりの時期とのタイムラグに対して、地域経済に対する影響を緩和する行政的な施策を考えているのか。 ・プロジェクトは、大阪府庁が責任を持って実施していくのか。 ・都市計画の観点から、大阪市もプロジェクトに賛成しているのか。 ・関西メガ・リージョン構想、市の「元気な大阪をめざす政策推進ビジョン」、大商が提案する「大阪活性化」とどう整合をとっていくのか。 ・府が策定している「都市計画区域マスタープラン基本方針」は当該PTにおいて具体的にどう反映するのか。 ・プロジェクトの前提条件はどういう状況を想定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定量的な試算は行っておりません。今後、まちづくりの内容について、順次、検討を深めたものを協議会に提出し、ご意見をいただく予定であり、集客数などの目標をお示しできるような検討を進めます。 ・大手前の庁舎エリアにある低未利用地を活用したまちづくりは、庁舎移転の有無に関わらず進めていくものですので、早期に事業化を図り地域の活性化につなげます。 ・大阪府が責任を持って基本計画を策定。 ・協議会において、都市計画を所管する立場から意見を伺い、土地利用のプランニングに反映する。また、事業化の段階では、都市計画上の地区計画等を設定する際に個別に協議・調整を行う。 ・大阪市や大阪商工会議所をはじめ経済団体とも随時、情報交換を行っており、今後の作業進捗に合わせ、緊密に連携していく。 ・マスタープランで示されている地域マネジメント型のまちづくりは、重要。 現在、まちづくり協議会の意見だけでなく、随時、地域の方や事業者の方と意見交換の場を持ち、当方の考え方や進捗状況を報告し、意見を伺っている。 また、府政だよりや府ホームページなどを活用して広報活動を行っており、幅広く府民からの意見を伺っている。 今後も正確な情報提供を行い、様々な方の意見が計画づくりに反映できるよう取り組む。 ・庁舎エリアにある本館や別館などの建物は府庁舎として使用しており、その敷地を除いた土地の活用方策を検討することで作業をスタート。



	文書による質問の骨子 (H22.6.22)	府の回答の骨子 (H22.7.12)
<p>続き</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光集客のコンセプトは評価できるが、何を目玉にするのか。 ・観光集客に結びつける方策は何か。 ・大阪城の見え方、緑等の幅広い視点での都市景観戦略にどのように取り組むのか。 ・特区が実現する可能性は。集客力アップをどれくらい見込んでいるのか。 ・高度な先端医療拠点にする場合、成人病C以外に研究機関や開発機関はどうするのか。 ・先端医療構想とメディカルツーリズムの全体構想を教えてください。 ・公有地の活用方法が大きなウェイトを占めるPT提案の中で、民活でどのような進め方が必要と考えているのか。 ・まちの歴史的背景を踏まえて、まちの性格を定義してまちづくりを進めてほしい。 ・単なる施設配置ではなく、エリアマネジメント的発想でソフト面を含め運営形態も明らかにした計画にしてほしい。住民参加型のまちづくり体制を構築してほしい。 ・いかに府議会で決定したとはいえ、成人病センターの移転を前提しているまちづくり案は、アジアの大きな受け皿にするという基本コンセプトになじまない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光集客力を高められる土地利用を検討しています。 ・人が集まり、楽しみ、活動することが、地域の活性化につながるものと考える。 ・緑空間の確保・創出、大阪城を意識した景観づくりについて、地域の皆さんと共有・実施できる景観形成の考え方を模索している。 ・特区は、集客によるぎわいづくりの一つの手法として有効と考えている。国の法制度化が大前提だが、現在、府庁内の関係部署と制度設計を始めている。 ・大手前の土地利用を検討する中で、市場調査も行いながら、成人病センターと連携が図れる施設の立地可能性を探っていく。 ・観光集客による賑わい創出の有効な手法の一つとして、国でも議論が進んでいる医療観光を提案。先端医療構想やメディカルツーリズム全体構想について、本府がプランとしてまとめたものはない。 ・府がしっかりとしたコンセプト、政策目標を掲げ、実現可能性のあるプランを作成し、府民の理解を得ながら事業実施することが必要。 ・歴史やまちの特性を踏まえ、地区ごとのまちづくりの方向性、目標像を明確にしていく。 ・地域の活性化のためには、集客施設の立地だけでなく、官民が協力して息の長いエリアマネジメントを行うことが重要。府だけでそれを実現するのは不可能。どういう仕組みがいいのかなどを検討している。 ・大手前地区に成人病センターが立地することは、昨年から今年の府議会にかけて議論し、決定していることなので、私どもは、その前提でまちづくりの検討を進めている。



	文書による質問の骨子 (H22.6.22)	府の回答の骨子 (H22.7.12)
続き	<ul style="list-style-type: none"> ・LRTの可能性はどれくらいあるのか。 ・森之宮地区は、現時点では、あるべき姿を提示することしかできないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪城周辺の魅力を高める一つのアイデアとして、環状交通のLRTを提案。実現可能性は未定。 ・今から土地利用をしっかりと検討し、議論を深めることが、円滑な事業化につながると考える。今後、実現可能性の調査も行いながら、事業化に向けた取組みを進める。
	上記府の回答を受けて提出された意見の概要 (H22.7.30)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり推進」というなら、成人病センターの有用性に立ち返って議論すべき。 今の大手前のプランには、成人病センターは馴染まない。 森之宮住民及び在住企業の意見を聞いたのか。 ・大阪府庁の移転により、低迷する経済環境下において、倒産・廃業・破産する地元企業が続出する危険性を見極めるために、経済的影響及びまちづくりによる経済的効果を算出し、それらが出現及び実現する時間的要素を考慮しておくべき。 大阪府庁移転による経済環境の変化に対する適切な緩和施策は、検討すべき。 ・「まちづくり」を責任を持って、完成させる覚悟と責任を明確にし、それらを府及び市が負うべき。 ・天満橋周辺にも更新を必要とする施設群がある。森之宮にも操車場を含む今後の活性化を期するエリアがある。広範囲な総合的な検討によるビジョンが必要ではないか。 ・プロジェクトを進めるにあたっては、行政のみならず、まちづくりに関連する事業者や地域住民が参加した運営組織が形成され、府及び市が実行に責任を持ち、そこに地域住民及び民間事業者が参加し、ともに責任を分かち合うというのが、エリアマネジメントの真髄。 それを可能にするためには、目指すまちのありようが共有されるべき。そのことに関して何らかの合意形成はあるのか。 ・スピードも必要だが、まちづくりは、大阪の何十年先を考えて進めていくべき事柄。 協議会において、本来のまちづくりを十分に念頭に置き、大阪の本当のプロジェクトに是非育てて頂きたい。 	



	内 容
2	<p>・大手前地区の施設配置パターンをみると、成人病センターが周りの施設と比べて違和感がある。成人病Cをどうのこうのというのではないが、どうなのかと思う。</p>
3	<p>1. 大阪府が土地を所有したままで地域の活性化の事業を進めるべきです。 各地で事業提案によるまちの活性化が進められているが、経済状況の変化などにより、提案者が責任を全うしない例が見受けられる。当初から転売を予定して高額提案をする事業者には地域に対して責任を果たす意思がない場合も多い。定期借地等の手法の導入などにより、大阪府が土地を所有したままで事業を進め、事業者が社会的な責任を果たすよう関与するとともに、古代より要衝であった地区を府民が再度活用する可能性を留保すべきです。</p> <p>2. 広域的なアクションプランの下に地域プロモーション組織を設立し事業を進めるべきです。 大阪城周辺エリアの貴重な都市資源を有意義に活用し、地盤沈下が続く大阪を活性化するためには、まず都市戦略のグランドデザインと大阪城周辺エリアの達成目標について経済界・関係行政機関等で認識を共有した上で、ソフト・ハードにわたるエリアの一帯のアクションプランを作成し、役割分担を明確にして着実に実現しないといけない。エリアの将来像を提案し、あとは各地権者や地元行政に実現をゆだねるといった姿勢ではなく、地域プロモーションの視点から戦略的なアクションプランを作成し、自主的な地域環境の形成・管理を実行する独立した主体を、関係地権者、自治体等とともに設立し、エリア一帯のマネジメントを推進すべきです。</p> <p>3. まちの将来像を都市計画に位置づけて事業を進めるべきです。 今回検討されている土地利用の転換は、従来の土地利用の方針を大幅に変更するものであり、たとえ現行の都市計画規制の枠内であっても、エリア一帯の地権者の発意による都市計画法に規定される都市計画提案の手続きを取るべきであり、府有地を活用する事業者とともに、官公庁を含む周辺地権者や地元自治体等と協議して、地区計画を定めるなど都市計画に位置づけた上で、これと整合する活性化の事業を進めていくべきです。</p>
4	<p>大阪活性化の観点より「成人病センター移転に反対」です。 府PT案の基本趣旨「アジアの大きな『受け皿』」は大いに賛同できる内容であり、この趣旨に沿って関西/大阪が活気ある地域とすべく、我々も汗を流したい。 しかしながら、府の公有地活用重点地区(大手前地区)案は、寄せ集め的な施設配置の感が否めず、「アジアの大きな『受け皿』」構想から大きくかけ離れている。その理由は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貴重な資源が生かされていない。 2. 全体にまとまりなく、地域ブランドの強化育成につながらない。 <p>(貴重な資源＝大阪の中心部上町台地の強固な地盤に立地し、水緑、歴史、文化、情報等を有する一等地。観光都市京都・奈良へ繋がる扇の要が大阪城であり、地理・歴史的に深く関連している) 関西/大阪の一等地という府民共有財産である好立地条件を最大限に活用した社会的な高付加価値の街づくり、「これからの百年」を見据えた後世に誇れる街づくりを目指すべき。 そこで、国家戦略(観光立国構想)に沿ったグランドデザインとして、大阪城を観光集客施設の目玉とし、周辺に散在する歴史・文化施設を拡充整備し、大手前地区周辺にまでその流れを引き入れる高品質な集客施設の構築を提案致します。 尚、現府有地は府庁全体構想を根拠に地元住民が府に明け渡した経緯があり、地元住民の意見も十分に尊重し、且つ多数の府民による合意形成によって推移すべきと考えます。</p>



③ 民間事業者の意見

	内 容
1	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天満橋から谷町四丁目のオフィスビルの賃貸事業が、成立しにくい状況になってきている。さらに、府庁の移転により、アゲインストの風が吹く。 ・土地を高く売りたいなら、マンション。分譲価格の設定さえ間違わなければ売れる。 ・大阪全体では、ホテルの需要はあるが、ホテルはホテル業に特化しており、自ら不動産をもつ時代ではない。大阪城周辺では、トップブランドのホテルは少なく、魅力はあるが、最終的なエリアの絵姿をみて進出の検討をと思う。自社でホテル運営はしない。 ・2000～3000席のホールが足りないという話は聞くが、コンベンションは、大阪ではしんどい。ホールだけでは、経営的には赤字で、それを補うために上層階にオフィスを設ける方法をとるが、谷町筋では厳しい。 ・大手前で土地を取得する条件は、何を建てるにしても価格が安いこと。安い代わりに、地区計画の条件で何かしぼりをかければよい。 ・フィットネスは、判り易い市場と聞いている。駅近くとか、周辺人口といった一定の条件があれば、採算ベースに乗るかを試算できると聞いている。 ・総合大学の誘致については、門前町を形成する方法としては魅力がある。学生が集まるところは活気がある。 <p>【大阪観光について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城の観光だけで終わってしまい、単一の目的で訪れる場所になっている。大阪城を望んでゆったりくつろいだり、食事ができるような店が必要。 ・桜の季節は、周辺施設でも飲食の需要が増える。造幣局への通り抜けのときがピーク。 ・大阪城周辺全体を見ると、キーワードは文化。大手前には美術館や科学館のような人が訪れる機能がほしい。 ・中国から訪れる富裕層を取り込むなら、電化製品、化粧品、アパレル等の買物。中国人の求めるものに対応できるところが売上を伸ばしている。 ・中国語など外国語の標記案内などは、コストが非常にかかる。
2	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手前は大手前高校や追手門学院などがあり、文教のイメージがつけやすく、大学を誘致してはどうか。また、医療と文教があるので、住宅系ならよい。 ・森之宮の大阪城公園近くは、いくつかランナーステーションが出来ており、夜もびっくりするくらい多くのランナーがいる。そうした需要はあるのではないか。 ・5年前なら不動産業界は上向きであったが、今は厳しいので、土地を無償で貸し付けても厳しいのではないか。オフィスは全然駄目である。 ・当社は中央線沿いに土地を持っていないので、中央線沿いでの開発は考えていない。 ・観光集客でいくなら、大阪城へのアクセスをどこかに絞ったほうがよいのではないか。
3	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者としては大阪城周辺は観光のターゲットとして考えていない。遠くに出かけてもらって観光してもらうことが重要。都心に近すぎる。



	内 容
4	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手前に大学の誘致は難しい。小中高の一貫教育をしているエリート校を誘致してはどうか。サテライト大学の経営は、あまりうまくいっていないと聞く。 ・成人病センターを大手前にもってくるのは違和感がある。また、周辺に医療関係の施設をもってくるのも馴染まない。バイオハザードに対するセキュリティが求められる。 ・難波宮は、一等地、このままにしておくのはもったいない。 ・森之宮地区は住宅ぐらいいか思いつかない。商業も難しいのではないか。サッカー場にしてはどうか。 ・大阪城そのものも、見て回ると改善すべき点がある。また、リゾート・スポーツゾーンがない。 ・まちづくり全体としては、大まかな方向を示して、具体的な内容は、企業から計画(アイデア)を募ってはどうか。
5	<p>【施設誘致の可能性】</p> <p>○大手前地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに思いつくのは、ホテル。ロケーションがいいので、可能性があるのではないか。 ・ホール、文化施設も面白いが、だれが運営するのかが問題になる。 ・大阪でビジネス・オフィスが成り立つのは、北ヤードと御堂筋。しかし、北ヤードの整備後は御堂筋から北ヤードにシフトするのではと考えている。 ・容積率をボーナスするから、土地処分価格を上げたり、地代を上げたりする時代ではなくなった。ビジネスユースでは床を埋めきれない。 ・住宅なら一等地。大手前は処分価格のみを重視するなら、マンションデベロッパーだけになる。 ・厳しい用途規制をつけられると、難しくなる。機能や用途規制を付けられながら、価格競争を競わされると、施設を付置しても、運営は厳しくなる。 ・文化や宿泊施設の事業は、土地負担能力がない。 ・領事館などを大手前に誘致してはどうか。住宅も必要になるが。 ・ハウスウェディングなら、大阪城の前というロケーションがいいので、進出したいという企業があるのではないか。公設民営で、土日は民間、平日は公用という使い道もあるかもしれない。 ・イベント的な仮施設による運営を行い、この地区の存在を世間に知らしめて、価値を高めるという方法をまず行うこともある。 <p>○森之宮地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校、大学(学部単位、サテライト)、マンションなど住宅系なら、可能性があるのではないか。
6	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手前には業務施設はなじまないが、住宅は可能性がある。また、ホールも可能性がある。 ・周辺にはメディア関係の企業があるので、何か連携したものができないのではないか。 ・一時郊外に出た大学が都心回帰で戻る動きがあるので、総合大学は難しいかもしれないが、学部単位であれば可能性はある。
7	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手前への進出は、集客性や計画内容を提示いただければ検討したい。



	内 容
8	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森之宮は鉄道が結節しているため、鉄道一本で移動できる場所にある大学なら魅力を感じるのではないかと。 ・今は私立大学よりも専門学校のほうが資金的に余裕があるので、専門学校が大学を設置することが多い。専門学校を当たってもよいのではないかと。 ・学部新設は開設の3～4年前くらいから準備を始めるので、森之宮の土地活用が5年後というのはちょうどよいのではないかと。
9	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし、特区で外国人をターゲットとした保税売店を大阪城周辺に作る事ができれば、展開の可能性はある。しかし、採算ベースにのるかは未知数。 ・ここに出店しても、商品を渡すのは空港で、出国時に渡すことになる。客のメリットは、ゆっくり商品を見ることが出来る点。 ・免税売店なら、特区でなくても出店できる。家電製品の量販店なら、免税売店で出店すると思う。保税売店にすると取り扱う商品が多すぎるので、手続きが大変になる。 ・免税店とは、消費税を免除しているもの。税務署長の許可を受けている。 ・保税売店とは、関税及び消費税の両方とも免除しているもの。税関から25キロ以内という基準があるが、沖縄の特区を除き、国際線の空港内にしかない。ただし、沖縄の場合は、特別で客の大半が国内の人。海外に行かなくても、免税店で買い物が出来るため、日本人が買い物に来る。このような店が大阪城周辺で開店すると、業界からの反発も予想され、認められないのではないかと。
10	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館・迎賓館・大規模劇場などは公共側で整備することが望ましい。 ・ホテル、ホールの事業性を向上させるには、借地あるいは低廉な土地代金での取得や、ホテルやホール事業における各種税金の減免等の措置が望まれる。 ・大学等の誘致を目指すには、公共性、公益性を考慮し、土地の転売禁止条項等を付して、無償に近い形での借地あるいは土地売却をすることが望ましい。
11	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手前には、ラグジュアリーホテルの立地可能性がある。
12	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手前には、シティホテルの立地可能性がある。
13	<p>【大阪観光について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省や国交省の研究会と一緒にPETやがん検診で実験的にメディカルツーリズムを試行している。企業側としては、今後市場として広がっていくかは懐疑的。 ・美容整形では、韓国が圧倒的に強く、とても価格ではかなわない。中国の富裕層が、PET検診やガン検査に日本に来るが、これも最先端の機器があるから。 ・短期的には集客になるかもしれないが、中国の経済発展をみると、今後、中国でも最先端の病院ができてくれば、それに打ち勝つだけの設備投資を継続できる病院が日本にどれだけあるかと思う。 ・一定以上のスキルをもち、治療内容だけでなく、契約や保険制度にも通じた医療通訳は、圧倒的に不足している。



	内 容
続き	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議場については、医学界の学会として参加者が1万人を超えるものが、全国で21ある。参加者が、4万人を超えるのは1つ。8つの旧帝大が持ち回りで開催しているが、年間を通じて会議場が使われるほどの需要はない。全国でも、国際会議に対応できるレベルの会議場は少ない。横浜で5千人、京都は2～3千人程度。国際会議では、会議と展示がセットで開催されるのが常識。わが国では、幕張メッセとか、ビックサイトで開催されている。 ・アウトレットは、大阪市内にはつぐれない。ブランドメーカーの店舗が心齋橋など近くにあるので、ブランド維持のために出店を認めない。中国人は、本当に良いもの、日本の信頼できる物を手に入れたいと思っている。高級品は、心齋橋のブランド店で、低価格帯の商品は、ドラッグストアで購入している。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・大手前・森之宮地区を含む大阪城周辺エリアを低炭素都市づくりの先進事例にしてはどうか。
15	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の活用方法として、売却だけではなく、土地交換も考えてはどうか。 ・本館については、歴史的な建物として前面部分は残すべき。 ・大手前について、企業の本社というのは違和感がある。観光といいながら、企業の本社をもってくると、まちづくりのコンセプトがぶれるのではないか。 ・あまりいろいろな機能を盛り込むと総花的になり、まちのコンセプトがぼやけてしまう。やはり一つに絞って、例えば医療健康増進をコンセプトに進めるのが良いと思う。 ・大手前のまちづくりにあたって、天満橋駅から谷町四丁目までの通りを考えていけないといけない。この通りを「表参道ヒルズ」のようにしてはどうか。 ・観光といっても素材が必要。ウィーンは、まちそのものが素材。大阪城周辺の素材が浮かばない。美術館や博物館を持ってきても、中に何を展示するかで、集客が大きく違う。
16	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、社内には自社ビル移転という考えはない。
17	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替時期や耐震問題もあり、将来計画の検討を始めたところだが、コストの問題が大きい。 ・大手前地区で土地の等価交換が可能であれば、検討の余地がないことはない。
18	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城周辺は今はお城だけになっている。人を呼び込めるものがあればよい。 <p>○大手前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手前ではオフィス立地は難しい。集積とアクセスのある梅田・淀屋橋でも空きがある。今でも梅田・淀屋橋に流れている。あふれてきたら可能性はあるだろうが現状では無理。 ・本館と裏の敷地を使って美術館はどうか。



	内 容
続き	<p>○森之宮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単体で考えると難しい。車が多く、タクシーが停車していて渋滞している。 ・オフィスは難しい。 ・住民向けか観光向けかビジネスか位置づけをはっきりさせないといけない。 ・交通アクセスをどう考えるかが重要。駐車場も必要。 ・トータルで言えば、インフラとターゲットを絞ることが重要である。
19	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの理念を見て、参加できるかどうかを考えたい。 ・森之宮焼却場や森之宮操車場など周辺のまちづくりとの連携についても考慮したほうがよい。 ・森之宮を含め、大阪城周辺は休息のできる飲食施設が少ないと感じる。 ・大阪市はいずれも病床過剰地域。医療施設の誘致は、市内にある病院の移転などの形態となるのではないか。 ・成人病センターについて大手前は入院中心の施設とし、外来は分離して森之宮地区に残してはどうか。森之宮は健康科学センターとあわせて健診(検診)機能に特化した施設とし、新たに終末期ホスピス・緩和ケア病棟を設けてはどうか。 ・公衆衛生研究所跡は、緑地化して緩和ケアの園道などにするのが望ましい。
20	<p>【施設誘致の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森之宮地区は駅に近く幹線道路にも面しているので、立地条件がよい。条件を整えば大学や専門学校などの進出も考えられる。
21	<p>【大阪観光の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城の天守閣だけではインパクトが弱く、ツアーには組み込みにくいのではないか。大河などドラマで有名になったとか、それなりのイベント(今なら平常遷都1300年祭や上海万博)が開催されているなどのインパクトがないとツアーは組みにくい。 ・USJや宝塚などに絡ませて、魅力的なイベントを開催していれば大阪城に立ち寄るといった感じ。 ・一般のイベントでは、新幹線や高速道路網があり、ツアーに仕立てるのは難しい。ツアー客ではなく、大阪、京都、兵庫、奈良など近郊から定期的に来てもらえるような工夫が必要。イベントのスケジュールがわかれば、自分の好みに合ったものを選べるし、リピーターにもなる。 ・イベントは赤字となる場合もあるが、周辺の経済波及効果まで含めて考えないといけない。 ・一般人へのPRが重要。知事の知名度を活かしたPRが効果的ではないか。 ・これからのキーワードは、ありきたりだが「癒し」ではないか。最近はパワースポットが流行っているが、結局は癒しということ。施設を建てても5~10年で飽きられる。 <p>【メディカルツーリズムについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国人やインド人を対象にしたツアーの企画について、現地の旅行会社や日本の医療機関などと検討を進めている。まだ具体的にはなっていない。 ・当面は東京見学と検査を組み合わせたものが考えられるのではないか。 <p>【大手前地区のまちづくりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスターミナルには、トイレと売店等が必須となるが、恒常的に一定の売上確保ができる集客が必要。



	内 容
22	<p>【大阪観光の実態】</p> <ul style="list-style-type: none">・京都・奈良・大阪がセットで、京都に宿泊し、奈良には歴史、大阪には近代的なものを求めて観光する。・欧米や韓国と違い、中国インバウンドは現地の旅行代理店しか扱えず(まだ規制があるため)、詳細は把握していない。・以前、修学旅行を取り扱っていたが、大阪＝USJ(+京セラドーム)であり、大阪城は訪問先に入れていなかった。昼食需要に応えられないのも理由の一つ。大阪城の中のお店では対応できない。・中国人のツアーはコスト削減のため、大阪城には登らず外から見るだけ。また、入っても見るものがない。・宿泊施設がキタとミナミに集中し、大阪城周辺では不足していると感じる。バックパッカーが多い外国人向けの簡易宿泊施設(4,000～5,000円/泊)があるとよい。京都には多い。・大阪には城下町がない。毎週末に城下町を模した屋台が出れば集客できるのでは。・大阪城まつりのようなイベントがあってもよい。都市の規模が違うが、松山城は市民に自分達の城だという意識がある。・博物館は展示に興味があれば利用するが、観光では普通は行かない。・大阪城の南側は寂しい雰囲気。南側に限らず、周辺にお洒落なお店ができれば雰囲気も変わるのでは。・大阪城の最寄駅としては、京阪と地下鉄が乗り入れる天満橋駅のポテンシャルが高いように思う。・東京や京都と比べて大阪には外国人にもわかる案内サインがまだ少ない。どこからどうやって大阪城に向かい、大阪城を見た後はどこへ行けばよいか、示してあげればよい。・緑の少ない大阪にあって、大阪城公園の緑は貴重。 <p>【メディカルツーリズムについて】</p> <ul style="list-style-type: none">・取り組み始めたところ。対象は全国だが、主には東京と大阪。今はまだ話題先行の状況。・PETは初期投資が大きい割に稼働率が低いので、外国人を取り込もうという病院側の思惑とも一致。・大きい病院では通訳スタッフを自前で用意する。 <p>【大手前地区のまちづくりについて】</p> <ul style="list-style-type: none">・バス駐車場と商業施設があれば吸引力にはなる。・大阪には観光バスの駐車場が少なく、客を降ろした後の回送や違法駐車が問題となっている。駐車場があればツアープランにもバリエーションが増えるのではないか。



	内 容
23	<p>【大阪観光の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪観光の魅力は「食・笑・歴史」だと捉えており、特に「笑」、それから「食」にスポットを当てた企画を充実させている。 ・国内では大阪城を組み込んだツアー企画は少ない。現状では、大阪城にはそれほどマグネット効果がない。大阪城観光は個人の自由旅行が多いのではないかと。ツアーを企画するにも付加価値が提案できないと難しい。 ・訪日客は、アジア系中心。台湾、香港、韓国、中国。台・香・韓は団体旅行から個人旅行に移行しつつあるが、中国はまだ中国側代理店による団体旅行が主。 ・中国は口コミ文化のため、観光ルートに組み込まれていない新規の施設への案内は現地エージェントに魅力が伝わらないとなかなか実現しない。 ・アジア系外国人は、整然としたキタよりも難波の雑多な賑わいを好むようだ。訪日の主目的は買い物で、ドラッグストアなどで大量の買い物をしている。自国の方が歴史が長いからか、外国の歴史観光にはあまり興味がない。 ・中国の旅行者も、今後個人旅行形態へ移行していくと思われ、その動向を見据えておく必要である。 ・周辺住民の理解と協力を得て、長期的なビジョンをもって歴史的な景観整備などを進めていけば、国内外でアピールできる。大阪の魅力「食・笑・歴史」の中の「歴史」の訴求力を高めていくことができるのでは。 ・ランナーは増えており、自転車(サイクルイベント)の人気も高まってきている。もっと種目を増やして、スポーツをテーマとしたイベントの充実、スポーツツーリズムの展開を図っていくことも考えられるのでは。自転車道の整備やレンタサイクルシステムなど、歩行者と自転車が共存できるしくみも面白い。 ・これだけ周辺にホールが集まっている地域はあまりない。ホテルもある。もっと積極的にイベントのしかけを打ち出していけるポテンシャルのある地域という気はする。 ・競争が厳しいホテルでは、周辺地域を対象としたまち歩きプランなど、地域との接点を模索する動きがある。大阪城周辺でも城だけにとどまるのではなく、城を起点として本館やその他資源をめぐるなど、コンテンツの充実、情報発信のしかたが大事。 <p>【メディカルツーリズムの可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国の取り組みをどこまで取り込めるか分析しているところである。 ・検診レベルならよいが、治療まで想定すると実現にはまだ多くのハードルがある。命に関わることは旅行会社として取れないリスクがあるし、病院側の受け入れ体制もまだ十分ではない。 ・先行しているシンガポールやタイ等のアジア諸国、最近ではブラジルなども、国策としての強力なバックアップの上で進めており、行政のしっかりした旗振りがないと個別の病院の対応には限界がある。



	内 容
24	<p>【ホテル利用者の動向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一昨年よりは落ちているが、インフルエンザの影響があった昨年よりは上向いている。 ・日本人客、外国人客ともバスツアーによるランチ利用はある。中国、韓国のバスツアーの利用が最近増えている。大阪、京都、奈良を周遊しているようだが、宿泊は大阪か京都が多いようだ。 ・周辺のホールなどでの会議・式典後の宴会利用やイベントの観客の宿泊需要があり、周辺にホールが立地しているメリットはある。 ・花見の時期はレストラン等の利用客が多い。大阪城へのルートは他にもあるので需要はもっとあるだろう。 ・オープン時から、大阪城周辺の花や鳥のスポットを取り入れたジョギングマップ、ウォーキングマップを作っている。 ・ジョギングコースとしては、一部外周の歩道に出るところや自転車接触の危険性や、道の凸凹などは改善してほしい。 <p>【メディカルツーリズムについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に対応可能と考えているが、まだ具体的な準備はしていない。 <p>【大手前地区について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客できる施設が望ましい。映画館、ショッピングセンター、温泉、学校など。 ・ビジネスホテルのグレードが上がってきているので競合する。需要と供給で言えば供給過多になる恐れがあるが、大阪にもっと人を呼ぶという観点からはホテルも歓迎。人の流れができる。
25	<p>【ホテル利用者の動向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内宿泊客は減っており、ネット予約などホテル同士の価格競争が激化している。海外客を取り込まないと生き残れない。 ・韓国、台湾、中国からのバスツアーによる宿泊客は、昨年より増えている。 ・周辺のホールの大きなイベント時は、宿泊への波及効果はある。 <p>【大阪城公園について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、大阪城公園内の樹木の手入れがなされておらず、木がうっそうとしている。街灯も暗い。 ・バス駐車場が遠いという苦情はよく聞く。基本的に園内にバスは入れない。 ・大阪城で開催されるイベントでは、経済効果はあまりない。一過性のイベントではなく、長期的な集客対策を期待する。
26	<p>【ホテル利用者の動向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人宿泊者は、国別では韓国、中国、米国、ヨーロッパの順。 ・海外ツアーの宿泊地は京都をあまり好まず、関空周辺、市内南部、梅田周辺の順に人気が高い。 ・修学旅行の宿泊は圧倒的に京都が人気で、大阪ではUSJ周辺のホテルくらい。京都で入りきらない分が大阪に流れてくるイメージ。 ・修学旅行客を大阪に引き込めるくらいの観光的なインパクトがほしい。大阪城をUSJに負けないテーマパークにできないか ・大阪のツアー観光の目玉はUSJが圧倒的で、そのほかは吉本か劇団四季。 ・周辺のホール関係の宿泊利用(スタッフ、観客)は多い。 ・天守閣への行き方を聞かれることは多い。花のシーズンはいいが、結構時間がかかるし、見るべきものがなく退屈な区間が多い。 <p>【メディカルツーリズムについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の内科と連携した1泊人間ドックのプランはある。 ・将来的に、ビジネスとして一定のボリュームが見込めるかどうかは疑問。